

# ようじえんだより 2020年度9月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地  
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

## 9月主題『友だちとともに』

主題聖句：わたしはあなたがたを友と呼ぶ。 ヨハネによる福音書15章15節

- ☆ 0歳児：保育者の祈りや讃美を通し、神さまを感じる。探索活動を楽しむ。安心して遊ぶ環境の中で、遊ぶ楽しさを知る。
- ☆ 1～2歳児：保育者や友だちと一緒に聖書のお話を聞く。いろいろなことに興味関心を持ち、試そうとする。保育者や友だちと応答し合う楽しさを知る。
- ☆ 3歳児：夏の生活も神さまに守られていることに感謝する。友だちと一緒に遊び、楽しさや難しさを経験する。自分の経験や思いを伝える楽しさを知る。
- ☆ 4～5歳児：神さまがくださった平和を考え、ともに祈る。夏の経験が喜びとなり、友だちに伝えたり、イメージを共有しながら共に遊ぶことを喜ぶ。うつろいゆく自然の変化に興味を持ち、その中で心を動かして過ごす。

### 友だちはいますか？

以前、我が子に友だちがいるのかと心配しているお母さんから相談を受けたことがありました。その方のお子さんは2歳児でしたから友だちの有無をそこまで心配する年頃ではありません。家庭が安心して遊べる場所であり、そして一人遊びが十分に満足するまで楽しんでから、友だちとの関係は深まっていきます。ただ、相談を受けたお母さんは「自分も友だちが少ないからこの子もそうなのではないか」とおっしゃっていました。「友だちが少ないことで困ったことはありましたか？」と聞くと、多少の寂しさを感じることはあったが困ったことはなかったとのこと。そこで〇〇ちゃん(このお母さんのお子さん)も困っている様子はないこと、そして友だちの言動が気になる様子も見られるようになってきたことを伝え、「子どもであっても友だちといつも楽しそうに遊んでいることばかりではないですし、友だちの数はさほど問題ではありません。むしろこの先、困難と一緒に乗り越えていける友だ

ちと出会っていくことが大切だ」と伝えました。

### 友だちとともに喜ぶことから

幼児期の子ども、とりわけ4、5歳児になると、友だちから多くの影響を受け、友だちとの関わりに何より喜びを見いだすようになります。友だちの存在なくして育ちは考えられないほどに、友だちの存在が大きくなるのです。幼児の場合、友だちとの遊びは年少さんでは一方的になりがちで遊びが細切れで続きません。しかし年中・長と上がるにしたがって、みんなが喜び合える遊びを継続していくことができるようになってきます。それはルールのある遊びを、共通意識をもって行えるようになるからです。

友だちと喜び合う遊びや体験を積み重ねた子どもほど、大きくなって困難や悲しみも分かち合えるようになっていきます。子どもの世界は大人が考えるほどほのぼのとしたものではなくストレートな物言いもよくある世界ですが、その中でたくましく、そして優しく育てられている子どもたちの姿が見られます。園長:久保田愛策

## 年間主題『こころが満たされる』

主題聖句：喜びと平和とであなたがたを満たす  
新約聖書 ローマの信徒への手紙15章13節